

# 日本政治学会 会報

## The JPSA News

No. 25

MAY 1993

### 国際ラウンド・テーブル政治研究集会 「冷戦後の新国際政治秩序」について

国際交流委員長 村松 岐夫

世界政治学会 (International Political Science Association) は、その総会を3年に一回開催し、その間にラウンドテーブルと呼ぶ研究集会を開きます。日本政治学会は、IPSAの会員としての役割を果たすために、1994年のラウンドテーブルを引き受け、これを3月末に京都で開催することになりました。この世界政治学会の研究集会・IPSA Roundtable in Kyotoの企画についてご報告します。研究集会のテーマは「冷戦後の新国際秩序」であります。政治と経済がますます複雑に絡み合うようになった冷戦後の国際情勢のもとで、先進産業国間において、また先進諸国と発展途上諸国との関係において、どのような相互調整の方法があり、そのことを通じていかなる相互の政治的・経済的発展をはかることができるのか。

米ソ冷戦の終了とアメリカの「覇権」の衰退によって、各国の外交政策のみならず民族問題や選挙といった政治的な諸要因はその比重を減じるどころか、ますます大きくなっております。先進国と途上国の関係も、冷戦期の二極対立的国際関係とは異なった枠組で理解する必要が生じております。国際秩序は今や再編成の時代にはいったことは誰の目にも明らかであります。ソビエト連邦崩壊後の混迷と中国における民主化の停滞は、経済発展と政治発展が第二次大戦後長く考えられていたように必ずしも同時進行的なものでないことを教えているといえましょう。経済発展に成功しつつある東アジア・東南アジア経済圏は、途上国に発展のモデルを提供すると同時に、国際経済秩序

にも大きな影響を与えつつあります。しかし、これら諸国がどのような政治発展を更に遂げてゆき、国際政治秩序にどのような影響を与えることになるかはまだ答のでいていない問題であります。

このような状況の中で日本にはいかなる対応が迫られているのか？ アジア・太平洋において東・東南アジア地域はいかなる役割を与えられるであろうか。アジア・太平洋において東・東南アジア地域はいかなる役割を与えられるであろうか。アジア・太平洋地域と西欧諸国および南北アメリカとの関係はいかにあるべきなのか？ これらの諸問題を、冷戦後の国際経済秩序・国際政治秩序形成の問題との関連において探ろうとするところに、本研究集会の主要な課題があります。

具体的な構成については、先のテーマ「冷戦後の新国際秩序」のもとに、3つの分科会がおかれます。第一は、国際関係の変動を、第二は、国レベルの変動を、第三は、地域と行政レベルの変動を扱う予定であります。企画運営委員会は、これらの3分科会の参加予定者に、現在交渉中です。3分科会には、論文提出者 (papergivers) をそれぞれ3人、討論者 (discussants) を2-3人おき、それぞれ3時間を当てる予定であります。

日程は、1994年3月26、27日の両日が研究会にあてられます。(また3月23、24日にはIPSAの執行委員会が開かれる予定です。)

研究会の会場は、京都市・宝ヶ池の国際会館であります。

1992年度 第5回理事会記録

日時 12月5日(土) 午後1時30分～2時45分  
場所 東京大学法学部会議室

1992年度第5回理事会は、以下の事項が報告・協議された。

〔報告事項〕

1. IPSAラウンドテーブルの件

在外中の村松国際交流委員長に代わり、蒲島IPSAR関係小委員会委員長より、1994年3月23日から27日にかけて開催が予定されているIPSAラウンドテーブルの日程及びテーマ(国際関係・国内政治・地域と政治情勢)についての説明があり、IPSA企画運営委員会メンバーが以下の通り紹介された。

五百旗頭真(神戸大学)、五十嵐武士(東京大学)、梅津實(同志社大学)、大嶽秀夫(東北大学)、蒲島郁夫(筑波大学)、北岡伸一(立教大学)、佐々木毅(東京大学)、曾根泰教(慶応大学)、辻中豊(筑波大学)、中邨章(明治大学)、藤原帰一(東京大学)、藤原保信(早稲田大学)、真淵勝(大阪大学)、村松岐夫(京都大学)、森脇俊雅(関西学院大学)、加茂利男(大阪市立大学)

また、三谷理事長より、元理事並びに前・現理事に対して出されたラウンドテーブル募金趣意書についての説明が、佐々木毅理事より、募金の活動状況についての説明が、それぞれ行われた。

2. 各委員会報告

(1) 企画委員会

猪口93年度企画委員長より、93年度研究会に向けての日程と企画運営の方針とが説明され、委員長を除く企画委員会メンバーが次の通り紹介された。

恒川恵市(東京大学 共通論題)、依田博(神戸大学 政治理論)、安世舟(大東文化大学 政治思想)、森山茂徳(独協大学 政治史)、小林良彰(慶応大学 日本政治)、真柄秀子(筑波大学 比較政治)、山本武彦(早稲田大学 国際政治)

(2) 年報委員会

田中94年度年報委員長に代わり、西尾委員(95年度委員長)より、94年度年報論文応募用

紙をすでに事務局に渡したこと、科学研究費の申請をしたことの報告があった。また、理事長より、11月6日に岩波書店との間で取り交わされた年報出版に関する覚書について、報告があった。

(3) 文献委員会

渡辺常務理事より、藤原93年度文献委員長から送付された次のような委員名簿が代読された。

縣公一郎(早稲田大学)、飯島昇蔵(早稲田大学)、荻原隆(名古屋学院大学)、佐藤正志(東海大学)、谷藤悦史(早稲田大学)、仲内英三(早稲田大学)、藤原保信(早稲田大学)、山本武彦(早稲田大学)、吉野孝(早稲田大学)

(4) 選挙管理委員会

常務理事より、沖野委員長から伝えられた次のような委員名簿が代読された。

沖野安春(新潟大学)、富田信男(明治大学)、菅原彬州(中央大学)、森山茂徳(独協大学)、望月昌吾(東海大学)、佐藤俊一(中京大学)、谷藤悦史(早稲田大学)、小林良彰(慶応大学)、真水康樹(新潟大学)

(5) 国際交流委員会

村松委員長に代わり、北岡二国間協力小委員会委員長より、ヨーロッパ政治学会との関係については委員長が、アメリカ政治学会との関係については北岡小委員長が、それぞれ活動を進めている旨の報告があった。

〔協議事項〕

1. 学会報告要旨の年報への掲載の件

学会報告要旨の年報掲載分が占める年報スペースが過大であるので、全廃を含めて見直してはどうかという、前回理事会での田中94年度年報委員長よりの発言につき、意見が交換された。その結果、年報スペースの節約のため、当面研究会のスケジュール表のみを掲載することが承認された。

2. 95年度総会・研究会の開催校の件

95年度総会・研究会は、法政大学で開催することが決定された。

### 3. 「学会発表データベース」参加及びアンケート調査の件

学術情報センターから依頼のあった「学会発表データベース」への参加及びアンケート調査への協力について、常務理事より説明及び報告があり、今回は参加を見送ることが承認された。

### 4. 第7回太平洋学術中間会議（1993年6月～7月、沖縄県で開催予定）の後援について

第7回太平洋学術中間会議組織委員会委員長砂川恵伸氏（琉球大学学長）より依頼のあった、日本学術会議等主催の太平洋学術中間会議の後援団体として名前を連ねる件について常務理事より説明があり、承諾の回答をすることが承認された。

### 5. 会員名簿作成の件

加茂前常務理事より、毎年25万円を名簿作成

積立金として積立て、2年に一度会員名簿を作成する従来の方法は、会員名簿の情報量が増えたこともあって印刷費が高騰し現状では継続不可能であることが指摘され、そのような実情を勘案の上、毎年35万円を積立て、3年に一度名簿を発行することが提案された。その方針の下で事務局が具体的措置を検討することが承認された。

### 6. 入会者承認の件

以下の9名の入会が承認された。

杉田敦、横山北斗、阿南東也、武田興欣、捧堅二、山田竜作、片原栄一、本間圭吾、川上和久

### 7. 次回理事会の件

次回理事会は、1993年3月24日（水）1時30分より、東京大学において開催することとした。

## 1992年度 第6回理事会記録

日時 1993年3月24日（水）午後1時30分～3時15分  
場所 東京大学法学部会議室

1992年度第6回理事会は、以下の事項が報告・協議された。

#### 〔報告事項〕

#### 1. 各委員会報告

##### (1) 年報委員会

田口93年度年報委員長より、今後の日程が説明され、年報発行に向けて順調に進んでいる旨の報告が行われた。田中94年度年報委員長より、中特集①ナショナリズムの現在、②戦後日本の政治、のそれぞれに対する論文応募状況の説明があり、少ない応募を補うために応募を個別に呼びかけた旨報告され、今後の予定が紹介された。

##### (2) 企画委員会

欠席の猪口93年度企画委員長から予め提出された、93年度研究会（於大東文化大学）の日程予定表が配布され、また安理事より猪口委員長から預かったその補正表が配布・説明された。また、本田94年度企画委員長より、次のような次期委員会名簿が配布され、企画

の予定が説明された。

（委員長）本田弘

（委員）足立幸男、有賀弘、飯島昇蔵、今村都南雄、岩野弘一、奥村大作、小野耕二、笠原英彦、鴨武彦、加茂利男、土倉莞爾、藤本一美、藤原孝、安世舟、藪野祐三

##### (3) 文献委員会

藤原93年度文献委員長より、会員から提出された業績アンケート並びに学術情報センターの情報をもとにして作成された「学会展望（1992年）資料」が配布・説明された。

##### (4) 選挙管理委員会

沖野委員長より、選挙管理委員名簿及び選挙日程表が配布・説明され、また渡辺常務理事より、有権者名簿の確定について、有権者資格を失うことになる2年度分会費滞納者には前例通り4月1日付けで督促を行い、4月20日までに払込があった（4月20日消印有効）分については資格を抹消しないこととする旨選挙管理委員長と事務局との間で合意したとの説明があった。

##### (5) 国際交流委員会

欠席の村松委員長に代わり、北岡国際交流

委員会二国間協力小委員会委員長より、今年 AP SA においてその設置が申請された日本政治についてのパネルに対し、内田元理事長を含む3名を派遣したい旨の報告があった。また、北岡小委員長より、E C P R との関係強化に関する村松委員長の報告が代読された。

## 2. I P S A ラウンドテーブルの件

村松国際交流委員長に代わり、蒲島国際交流委員会 I P S A 関係小委員会委員長より、資金委員会に関して、I P S A ラウンドテーブル開催のための資金が順調に集まっていること、現理事・元理事等からの募金も目標を達成しその協力に感謝していることの報告があり、また、企画委員会についても順調に準備が進んでいることが報告された。

## 3. その他

常務理事より、INSTITUT FÜR HÖHERE STUDIEN 主催の“Vienna Dialogue on Democracy”、及びメキシコのCentro Estatal de Estudios Municipales del Estado de Guanajuatoの「参加と自主管理」に関するセミナーについて、事務局に送られた報告者招請状が紹介された。

## 〔協議事項〕

### 1. 1992年度決算の件

常務理事より決算報告、武藤・宮村両監事より監査報告が行われ、別紙の通り承認された。

### 2. 1993年度予算の件

常務理事より予算案の提案がなされ、審議の結果、支出のうち研究会開催費の報告者謝礼の項目に5万円を計上し、予備費を5万円減らす

よう修正の上、承認された。

### 3. 年報配布の件

常務理事より、今年度より始めた会員への年報配布について、会費払込済みの会員に対してのみ配布し、未納者にはその後会費の払込があったことを確認した上で、事務局より年報を送付することとした旨の説明があり、当面この原則に基づいて配布を実施していくことが承認された。

### 4. 国際交流基金運営委員会の件

1991年6月の理事会で決定された「国際交流基金運営規程」に基づき、国際交流委員長と常務理事との協議の結果、国際交流委員長及び常務理事に加えて、蒲島理事・北岡理事、武藤監事によって、国際交流基金運営委員会を構成したい旨常務理事より諮られ、了承された。

### 5. 日本学術会議の件

日本学術会議第16期会員選出のための学術研究団体登録を行うことが三谷理事長より提案され、承認された。また、この手続きのための役員カード作成への協力が常務理事より要請された。

### 6. 入会者承認の件

以下の9名の入会が承認された。

厚見恵一郎、高野和基、太田義器、加山真路、植村秀樹、植村和秀、近藤哲夫、赤根谷達雄、津田由美子

### 7. 次回理事会の件

次回理事会は、1993年6月12日(土)、京都大学会館において開催することとした。



# 学 会 ニ ュ ー ス

## 日本政治学会 1992年度決算

	費 目	予算額	執行額
収 入	1. 前年度繰越金	2,571,991	2,571,991
	2. 会費収入	7,920,000	8,500,570
	3. 雑収入	100,000	35,915
(R)	収入合計	10,591,991	11,108,476
支 出	1. 研究会開催費	1,100,000	1,060,000
	A. 研究会準備金	950,000	950,000
	B. 報告者謝礼	150,000	110,000
	2. 委員会経費	660,000	660,000
	A. 年報委員会	180,000	180,000
	B. 企画委員会	180,000	180,000
	C. 文献委員会	160,000	160,000
	D. 国際交流委員会	140,000	140,000
	E. 選挙管理委員会	0	0
	3. 理事会経費	80,000	69,815
	4. IPSA学会分担金	300,000	219,450
(E)	5. 事務局経費	940,000	944,057
	A. 理事長通信費	100,000	100,000
	B. 運営費	60,000	60,000
	C. 人件費	500,000	500,000
D. 経常費	280,000	284,057	
6. 名簿作成積立金	250,000	250,000	
7. 国際交流積立金	100,000	100,000	
8. 選挙管理費	0	0	
9. 会報発行費	380,000	321,091	
10. 年報会計へ	4,200,000	4,200,000	
11. 予備費	2,581,991	85,487	
	支出合計	10,591,991	7,909,900
	差引残高		3,198,576

### 一般会計資産

現金	117,511
郵便総合口座	1,988,228
さくら銀行普通口座	1,092,837
合 計	3,198,576

### 別会計(1) 名簿作成積立金

収入 前年度からの繰越	692,056
本年度積立	250,000
利息	2,435
合 計	944,491
支出	942,080
差引残高	2,411

### 別会計(2) 国際交流積立金

収入 前年度からの繰越	995,179
本年度積立	100,000
利息	33,489
合 計	1,128,668
支出	1,000,000
差引残高	128,668

### 別会計(3) 年報会計

収入 年報会計準備金	2,000,000
本年度積立	4,200,000
利息	216,600
合 計	6,416,600
支出	4,199,890*
差引残高	2,216,710

\*4,142,230 (岩波書店への支払)  
+57,660 (事務局発送費)

### 別会計(4) 国際交流基金

収入 前年度からの繰越	14,027,613
利息	624,426
合 計	14,652,039
支出	350,000
差引残高	14,302,039

# 学 会 ニ ュ ー ス

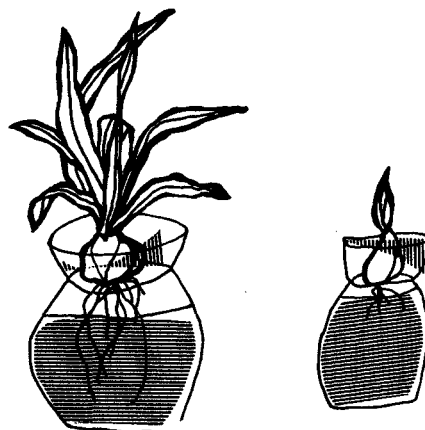
## 日本政治学会 1993年度予算

<一般会計>

費 目		予算額
収 入	1. 前年度繰越金	3,198,576
	2. 会 費 収 入	8,220,200
	3. 雑 収 入	30,000
(R)	収 入 合 計	11,448,776
支 出	1. 研究会開催費	900,000
	A. 研究会準備金	850,000
	B. 報告者謝礼	50,000
	2. 委員会経費	696,000
	A. 年報委員会	180,000
	B. 企画委員会	180,000
	C. 文献委員会	160,000
	D. 国際交流委員会	140,000
	E. 選挙管理委員会	36,000
	3. 理事会経費	80,000
	(E)	4. IPSA学会分担金
	5. 事務局経費	940,000
	A. 理事長通信費	100,000
	B. 運 営 費	60,000
	C. 人 件 費	500,000
	D. 経 常 費	280,000
	6. 名簿作成積立金	350,000
	7. 国際交流積立金	100,000
	8. 選挙管理費	400,000
	9. 会報発行費	380,000
	10. 年報会計へ	4,200,000
	11. 予 備 費	3,152,776
	支 出 合 計	11,448,776
差 引	残 高	0

<年報会計>

収入(R)	
1. 前年度より繰越	2,216,710
2. 一般会計より	4,200,000
3. 雑収入	5,000
収入合計	6,421,710
支出(E)	
1. 年報費用	4,286,940
2. 予備費	2,134,770
支出合計	6,421,710
差引	0



## 1993年度研究会プログラム (1993年4月12日現在)

本年度は参加・分権・公開をモットーにした昨年度企画委員会の方針のさらなる徹底をはかりました。その結果、つぎのように研究大会のプログラムがままりました。(企画委員会)

### 1. 共通論題

(あ) 21世紀の政治経済体制への展望——「自由主義」は勝利するか? (10月2日午前)

司会 田中治男 (成蹊大学)

報告 坪郷 実 (北九州大学) : 地球環境時代

における統合的環境政策—エコポリティックスとレーバーポリティックスの交錯  
土屋健治 (京都大学) : 21世紀における国民国家の『運命』  
松原隆一郎 (東京大学) : 21世紀の自由主義経済学の課題

討論 久保文明 (慶応大学)

山本吉宣 (東京大学)

# 学 会 ニ ュ ー ス

## (い) 日本政治研究の新方向——「多元主義」は こえられるか？ (10月3日午前)

司会 曾根泰教 (慶応大学)

報告 辻 琢也 (埼玉大学) : 多元主義と戦後  
日本の『調整』価格

加藤淳子 (東京大学) : 多元主義と日本  
政治研究の新方向——税制改革の事例

篠田 徹 (早稲田大学) : 多元主義と現  
代日本の労働組合討論

討論 中邨 章 (明治大学)

桶渡展洋 (東京大学)

## 2. 政治理論

### (う) アメリカ社会科学理論の再検討 (2日午後)

司会 田口富久治 (名古屋大学)

報告 柏岡富英 (国際日本文化研究センター) :  
社会学

大橋勇雄 (名古屋大学) : 経済学

藪野祐三 (九州大学) : 政治学

討論 猪口邦子 (上智大学)

猪木武徳 (大阪大学)

## 3. 政治思想

### (え) ユートピアと全体主義 (2日午後)

司会 安 世舟 (大東文化大学)

報告 和田春樹 (東京大学) : ロシアのユート  
ピア思想

倉塚 平 (明治大学) : ユートピアとユ  
ートピア実験

討論 内田健二 (大東文化大学)

三宅正樹 (明治大学)

### (お) オピニオン誌『ネーション』からみた戦前 期比較思想 (3日午後)

司会 田中 浩 (大東文化大学)

報告 村松恵二 (弘前大学) : アメリカからみ  
たヨーロッパ世界

加藤晋章 (大東文化大学) : アメリカか  
らみたアジア世界

討論 西田 毅 (同志社大学)

有山輝雄 (成城大学)

## 4. 日本政治

### (か) 政治過程における選挙 (2日午後)

司会 小林良彰 (慶応大学)

報告 山口二郎 (北海道大学) : 日本型政党政  
治における選挙のイメージ

大山礼子 (国会図書館) : 議員立法の現  
状と国会改革

市川太一 (広島修道大学) : 議員補充に  
おける固定化

討論 三宅一郎 (神戸大学)

大嶽秀夫 (京都大学)

### (き) 地方政治の再生 (3日午後)

司会 村松岐夫 (京都大学)

報告 佐々木信夫 (聖学院大学) : 地方政治の  
パラダイム転換

桑原英明 (常磐大学) : 地方政治の文化  
化と政策

笠 京子 (香川大学) : 地方政治と地方  
公営企業

討論 本田 弘 (日本大学)

辻中 豊 (筑波大学)

## 5. 比較政治

### (く) ポスト・コーポラティズムとヨーロッパ政 治 (2日午後)

司会 山口 定 (大阪市立大学)

報告 阪野智一 (神戸大学) : 1980年代以降に  
おけるイギリスの労働政治の変容

宮本太郎 (立命館大学) : スウェーデン  
におけるコーポラティズムの変容

井戸正伸 (徳島大学) : 1980年代イタリ  
アの労使関係

討論 石田 徹 (龍谷大学)

## 6. 国際政治

### (け) 新国際政治経済秩序の形成 (2日午後)

司会 山本武彦 (早稲田大学)

報告 近藤哲夫 (東京大学) : 軍事バランスと  
政治利益からみた日米関係

赤根谷達雄 (筑波大学) : 構造変化のも  
とにおける貿易体制と合理的交渉戦略

古城佳子 (国学院大学) : IMF増資問  
題と日本の経済大国化—国際制度と国家  
の観点

討論 長尾 悟 (国際大学)

五味俊樹 (大東文化大学)

## 7. 政治史

### (こ) 途上国・移行国における民主化 (2日午後)

司会 鈴木佑司 (法政大学)

報告 川原 彰 (杏林大学) : ポスト共産主義  
における民主政定着過程 (ポーランド)

木宮正史 (法政大学) : 韓国における民  
主化

岩崎正洋 (東海大学) : 民主主義理論と

# 学 会 ニ ュ ー ス

民主化の過程

- 討論 伊東孝之 (早稲田大学)  
倉田秀也 (常葉学園富士短期大学)

## 8. 自由論題

### (さ) 政治学における数理的アプローチ (3日午後)

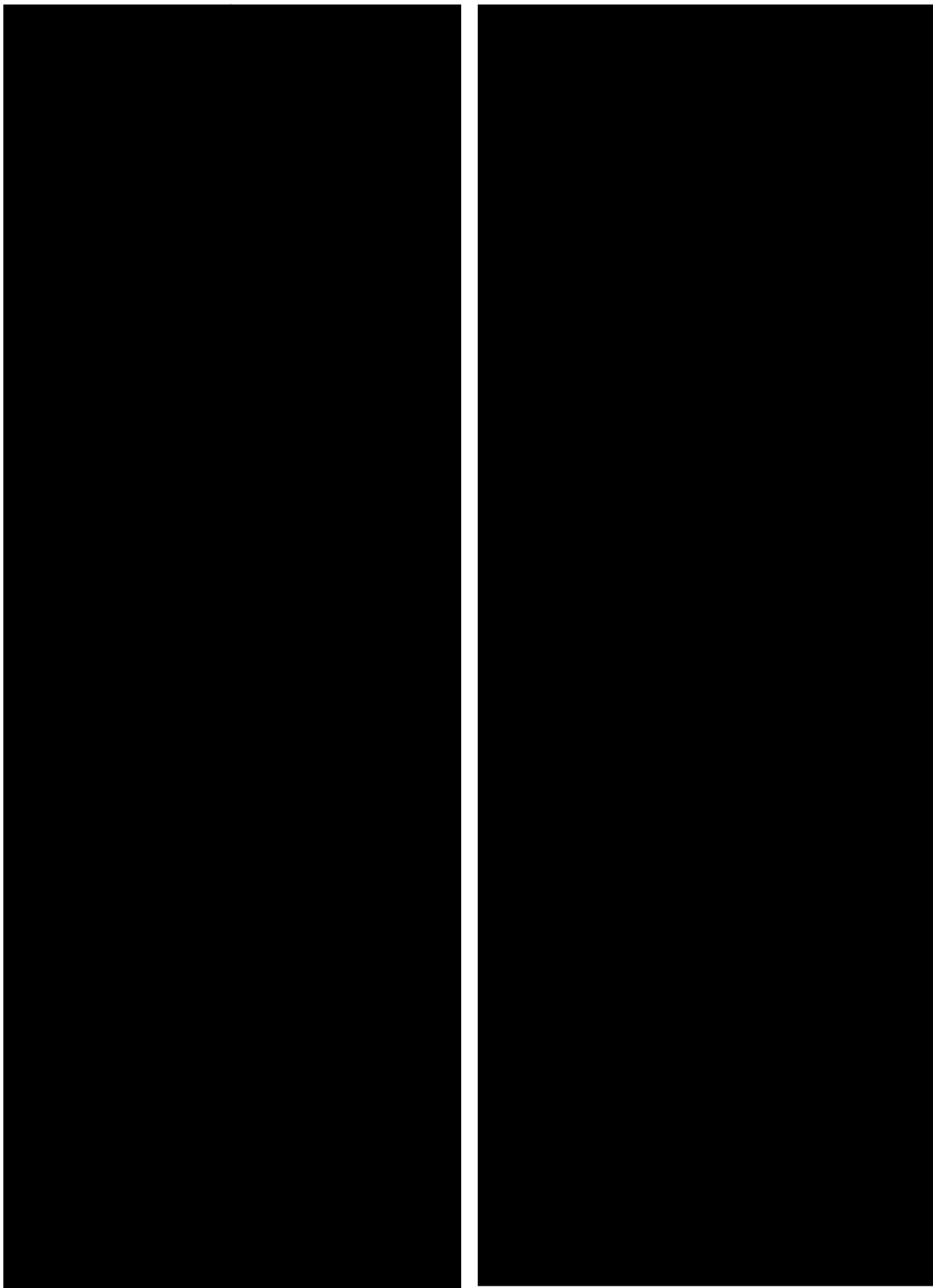
- 司会 山川雄己 (関西大学)  
報告 松原 望 (東京大学): 権力と社会に関する数理的アプローチ  
石丸 徹 (帝京大学): 統治と国家に関する数理的アプローチ  
河野武司 (杏林大学): 情報とコミュニケーションに関する数理的アプローチ  
討論 蒲島郁夫 (筑波大学)  
森脇俊雄 (関西学院大学)

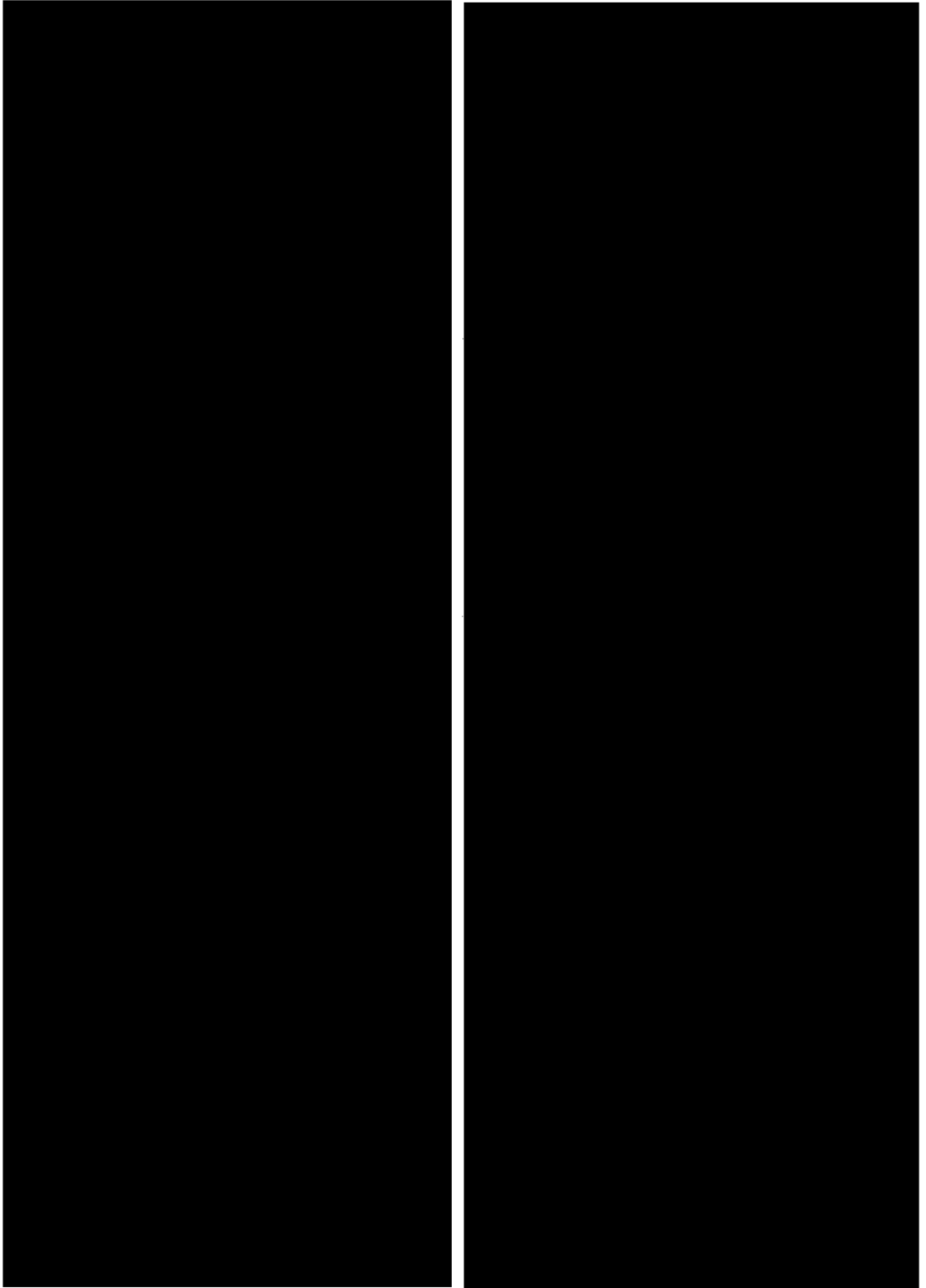
### (し) 完全自由論題 (3日午後)

- 司会 中村勝範 (慶応大学)  
報告 石上泰州 (北陸大学): 自治体における政策形成に関する実証分析  
討論 中村照雄 (関東学院大学)  
報告 片岡政昭 (筑波大学): 自民党内の知事候補者選考の政治力学—地方政治のテクノクラシー化再考  
討論 若田恭二 (関西大学)  
報告 森 一貫 (帝塚山短期大学): 近代日本における『市民』概念の検討  
討論 寺崎 修 (駒沢大学)  
報告 笠原英彦 (慶応大学): 日本中央集権国家の史的研究—太政官制の形成と機能を中心として  
討論 楠精一郎 (高崎経済大学)

## 会 員 の 異 動 (1992. 11. 12~1993. 4. 27)







事 務 局 よ り

IPS A 研究グループへの加入について

IPS A (世界政治学会)の中には、現在、45の研究会・研究グループがあります。これは、様々の個別テーマ(例えば、政治的エリート、欧州統合、社会的政治的多元主義、アジア政治、性的役割と政治、人権、政治的財政と腐敗、公共政策分析、政治発展、宗教と政治)に特に関心を持つ研究者の国際的ネットワークで、時々会議を開く他、情報交換の役割を果しています。日本政治学会の会員は、これらに個人として加入することができますので、御関心の向きは、事務局までお問い合わせ下さい。

国際会議での報告者の募集について

オーストリアのInstitut für Höhere Studien (Institute for Advanced Studies、学術評議員にJ・ハバマス、A・リープハルト、G・サルトリ、K・ゾントハイマー氏等)が、同研究所主催の下記の国際会議での報告者を募集しています。御関心の向きは、事務局にお問い合わせ下さい。

名称: Vienna Dialogue on Democracy :  
The Politics of Antipolitics

主題: 現在増加中の市民の反政治的な態度とそれを利用したポピュリスティックな政治運動

日時: 1994年7月7日-10日

申込締切: 1993年10月31日

報告原稿提出締切: 1994年4月30日

費用: 旅費滞在費は支給される見込み

関連学会の研究会開催予定

政治思想研究会(CSPT JAPAN)第5回研究集会

日時: 1993年5月29日(土)・30日(日)

会場: 立命館大学衣笠キャンパス

テーマ: 転換期の政治思想

問い合わせ先: 立命館大学法学部 中谷猛氏

電話: 075-465-8175

事務局住所変更のお知らせ

事務局の住所及び電話番号・ファックス番号が、1992年10月19日より、下記のように変更されました。お間違いのないようにご注意ください。

住所 〒113 東京都文京区本郷7-3-1  
東京大学法学部研究室内

電話 (03) 3812-2111

内線3173 (原資料部気付)

FAX (03) 3816-7375

異動の連絡についてお願い

名簿記載事項に変更があった場合には、事務局まで御一報下さい。

毎年、年度末に会費2年度分滞納のため、会員資格をなくされる方が相当数生じております。その多くの方は、転居で事務局からの発送物が届かなくなった方々です。特に住所変更については、必ずご連絡を下さいますようお願い申し上げます。

また、二年以上御留学等のために海外に行かれ

る方は、御留学前に、振込用紙の通信欄にその旨御明記の上、お留守の間の会費を先払いして頂きますと、会員資格の喪失という事態を防ぐことができます。

## 年報配布について

1992年度より、年報の会員配布制が始まりました。92年12月22日現在で92年度分会費の納入が確認された方に対しては、岩波書店から直接年報が送付されました。それ以後に92年度分をお振込み頂いた方については、お振込みが確認された時点で、事務局からその都度送付させて頂いております。万一、92年度会費をお納めになったにもかかわらず、年報が届いていらいっしょらない方がおありでしたら、事務局までお知らせ下さい。

## 会報 NO. 24 正誤訂正

会報 NO. 24の1992年度第2回理事会記録にミスプリントがありましたので、お詫びして訂正させて頂きます。

P. 5 左段下から9行目

〈誤〉 1992年3月26, 27日に京都で開催 →

〈正〉 1994年3月26, 27日に京都で開催

## 会費納入についてのお願い

新年度にあたり、会費を同封の振込用紙にて、お支払いいただきますようお願い申し上げます。1992年度より年報の会員配布制への移行に伴い会費は以下ようになっておりますので、該当の金額をお振り込みください。なお、年報の配布は会費納入済みの会員にのみ行います(第6回理事会記録参照)。なるべく早めにお払い込みくださるようお願い申し上げます。

1. 金額 一般会員 7,500円  
大学院生 5,000円

2. 一般会員の場合

一般会員の方には、7,500円の金額記入済みの振込用紙を同封しておりますので、同金額をご納入下さい。

3. 大学院生の場合

現在大学院生として登録されている方には、5,000円と記入済みの振込用紙を同封しておりますので、変更のないばあいは、そのままお振

込下さい。

4. 一般会員への変更の場合

登録は大学院生であるものの、すでに大学院生でなくなった方は、金額欄を7,500円とご訂正の上ご送金下さい。(この場合通信欄にて名簿記載事項の変更をお知らせください)。

なお、大学院生とは後期博士課程の正規の学生のみで、研究生・学術振興会特別研究員などは含まれませんので、これらに該当される方は、一般会員となります。

5. 前年度会費未納入の場合

92年度会費未納入の会員には、92年度分と93年度分とを加えた金額(一般会員15,000円、大学院生10,000円)を記入してあります。

大学院生と登録されていて変更のあった方は、4.の場合と同様10,000円を12,500円にご訂正下さい。

本号の目次	ページ
1. 国際ラウンド・テーブル政治研究 集会のお知らせ	1
2. 理事会記録	2~4
3. 1992年度決算・1993年度予算	5・6
4. 1993年度研究会プログラムのお知らせ	6~8
5. 会員の異動	8~11
6. 事務局より	11・12

1993年5月25日

発行 日本政治学会事務局

渡 辺 浩

〒113 東京都文京区本郷7-3-1

東京大学法学部研究室内

TEL (03) 3812-2111

内線3173 (原資料部気付)

FAX (03) 3816-7375

郵便振替番号 東京 0-84250

加入者名 日本政治学会

印刷 株式会社善光堂印刷所